



県病医療ニュース

病院機能評価3rdG:Ver2.0認定病院

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係

※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら



救命救急センター

二刀流の医師 「ダブルボードの救急医」

医師のダブルボードとは

「**ダブルボード**」とは、1人の医師が日本専門医機構の定めた19の基本領域の中から2つの異なる専門医資格を取得することです。例えば、救急科専門医が外科専門医を取得すると救急科と外科専門医のダブルボードとなります。

救急科担当医が救急科専門医を取得し、他科のダブルボードを取得することは、救急医としての裁量を広げ、専門領域の疾患に深く治療介入することで、より高度で質の高い医療に貢献できる可能性があります。

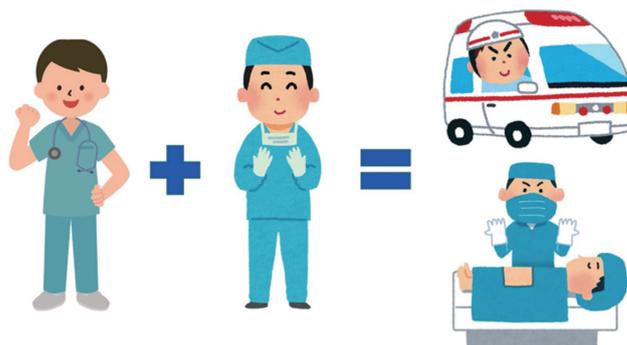
基本領域(19領域)

内科	脳神経外科
小児科	放射線科
皮膚科	麻酔科
精神科	病理
外科	臨床検査
整形外科	救急科
産婦人科	形成外科
眼科	リハビリテーション科
耳鼻咽喉科	総合診療
泌尿器科	

ダブルボード資格を持つ医師が支える信頼の医療

当センターには高度な知識と経験を持つ救急科専門医が複数在籍しており、救急医療の最前線に立つ専門医として複雑なケースにも適切に対応し、患者さんの回復に向けた最善の治療を行っています。

また、外科や小児科などの専門医資格を有するダブルボード医師もいるので、外科の緊急手術や小児の救急対応はもとより、その後の治療にも携わっていくことで、より安全で安心な医療を提供することができます。



救急科と外科のダブルボード

ダブルボードを選択する仲間を増やす

救急医療を充実するためには、それを担う人材の確保・育成が不可欠です。今後の大分県の医療を支える医学生や若手医師への情報提供、ダブルボード医師の魅力・やりがいを伝えることが大切です。

昨年の救急医学会で「救急科・外科医師」の立場で発表しましたが、多くの若手外科医に興味を持ってもらえました。ダブルボードを選択する医師の広がりを期待しています。

(救命救急センター 副部長 寺師 貴啓)

精神科

精神医療センターの心理師の役割

当院の精神医療センターには、**公認心理師**が在籍し、入院されている患者さんと以下の内容で関わり、診療を行っております。

カウンセリング

主治医の依頼を受け、入院されている患者さんのお話を伺うことがあります。目指したい姿や生きやすく感じる考え方や環境は人それぞれ。そこに寄り添い、今自分に何が必要か、どういった変化が望ましいか、大切にしていきたいことは何かを話し合いながら、一緒に考えていきます。



心理検査

患者さんの知能や性格、精神状態を患者さんご自身及びそのご家族、医療者や他医療機関等の支援者と把握するために、心理検査を行うことがあります。検査結果に基づき患者さんがご自身のことを振り返ることで、さらに理解が深まり、今後の対策を考えていけるようになることを目的とします。



チーム医療

現在、リエゾン・緩和ケア・認知症ケアに参加し、精神医療センター以外の科に入院されている患者さんの心理的支援に携わることがあります。今後の治療のために経過を詳細に聞かせていただいたり、「治療の辛さを共有したい」と患者さんや医療者からご依頼があったり、介入理由はそれぞれ異なります。



入院されている患者さんおよびそのご家族は、これを機に“時間を使って考えたいこと”や“退院後の生活で不安なこと”があるかと思います。そういったお悩みを解決する力になれるよう、今後も取り組んでまいります。

(精神科 公認心理師 林 千和)



看護師ほか医療スタッフの
臨時職員を募集しています。
詳しくはこちら